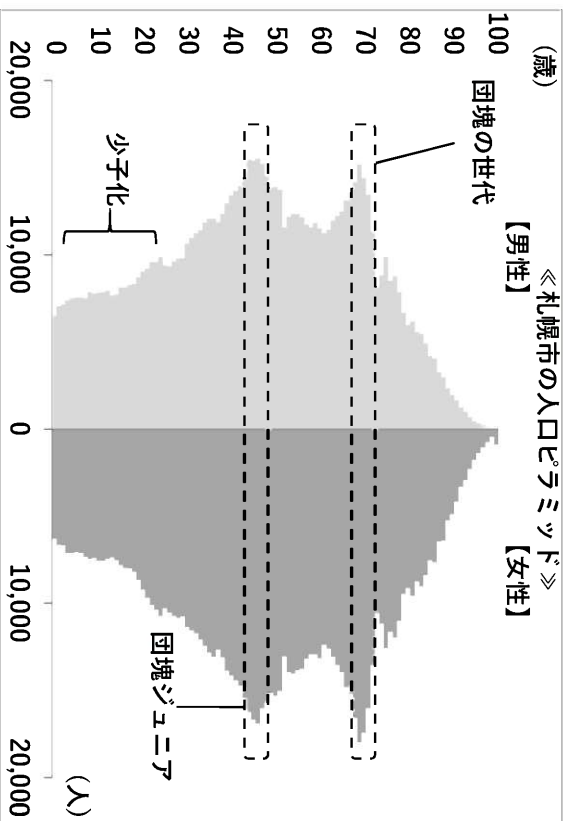


# 『多死社会』を不安なく迎えるため 身近な人と一緒に考えてみませんか？

多死社会とは…

「高齢化が進展して死亡者数が非常に多くなった社会」



多死社会の本格化に伴って起こることが想定される火葬場や墓地に関する問題と、それらへの対応を示す「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想(案)」を取りまとめましたので、皆さんのご意見を募集します。

【ご意見募集期間】

令和元年(2019年)12月23日(月)

令和2年(2020年)1月31日(金)

(ご意見の提出方法は右隣をご覧ください)

札幌市保健所生活環境課

【市政等資料番号】  
01-F06-19-2437

1 意見の募集期間  
令和元年(2019年)12月23日(月)～令和2年(2020年)1月31日(金)

2 意見の提出方法

- 1) 郵送 : 下記5へ郵送願います。
- 2) 持参 : 下記5へ持参願います。受付時間は平日の8:45～17:15です。
- 3) FAX : 011-622-7311
- 4) メール : seikatsu-eisei@city.sapporo.jp
- 5) ホームページの意見募集フォーム  
[[http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/kihonkoso/pubcome\\_form.html](http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/kihonkoso/pubcome_form.html)]

3 意見の提出にあたっての必要事項

- ・ご意見の内容
  - ・本書または概要版の該当するページや項目
  - ・お名前、ご住所、年齢
- ※所定の様式はありません。どのようなものに記載いただいても結構です。
- ※お名前・ご住所・年齢は、ご意見の集計以外の目的に使用することはありません。
- 札幌市個人情報保護条例の規定に従い、適切に取扱います。

4 札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想(案)の配布場所・閲覧場所

配布場所・閲覧場所	本書	概要版
市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
市役所本庁舎1階 パンフレットコーナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
保健所 生活環境課	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
各区役所 市民部総務企画課広聴係	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
各まちづくりセンター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ふれあいパンフレットコーナー (地下鉄大通駅定期券発売所並び)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
札幌駅前通地下歩行空間 北3条交差点広場(東)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※資料は、以下の札幌市ホームページからもご覧いただくことができます。

[<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f3seikatu/kihonkoso/pubcome.html>]

5 意見の提出先・お問い合わせ先

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 3階  
札幌市保健福祉局保健所生活環境課 TEL 011-622-5182

6 留意事項

- ・電話や口頭でのご意見の受付や、ご意見に対する個別回答は行っておりません。
- ・ご意見の提出にあたっては、お名前・ご住所・年齢を記入してください。ご意見の概要を公表する際には、お名前やご住所は公開いたしません。

1 多死社会が本格化するとどんな問題が起きる？【基本構想を策定する背景】本書 P2～

今後、人口の多い世代の方々が寿命を迎えられる頃、亡くなる方が多い状態が長く「多死社会」が本格化します

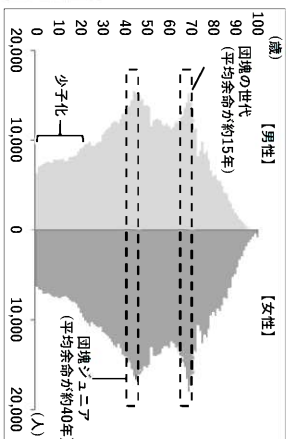
多死社会が本格化すると…

「火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる」  
「後継者がいないためお墓が放置される」  
「高齢単身世帯が増加する中、孤立死して無縁仏になってしまう」  
おそれがあります

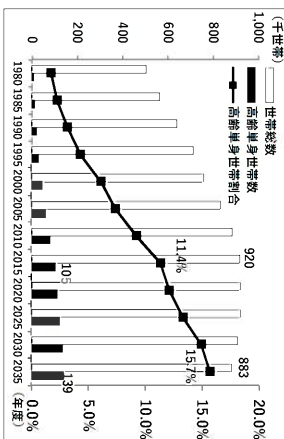


亡くなった方の尊厳を保つことが難しくなります

【札幌市の人口ピラミッド(2019年4月現在)】



【札幌市の世帯数の内訳と推移】



多死社会に対応していくためには…

火葬場や墓地を整備し安定的に運営していくことが不可欠です！

…でもこれだけで本場に十分なのでしょうか？

死は誰にでも訪れるもの

当事者は市民

でも、あまり話題にはしない

いつか必ず「身近な人の最後を見送る」  
または「自分自身が見送られる」ことになります

みなさん一人ひとりが葬送※のことを考え、準備し、行動することが大切です！

※人が亡くなってから葬儀と火葬を行い、遺骨を納めたお墓や納骨室などを管理していく一連の行為のこと



葬送のことを考えてもらうきっかけとするために、令和2年3月に基本構想を策定します

2 基本構想にはどんなことが書かれている？【基本構想の位置づけと特徴】本書 P5～

基本構想とは…

『葬送に関するビジョン(将来の目指す姿)とその実現に向けた施策の方向性を示すもの』

特徴①

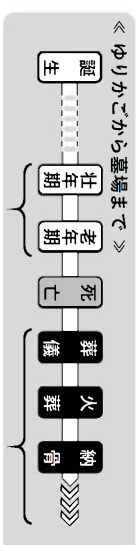
火葬場や墓地の運営・整備のほか、引取者のない遺骨や無縁墓の対策など亡くなった方の尊厳を保つ視点に立った施策を盛り込んでいます

特徴②

生前のうちから、葬送のことを自分事として考え、機会を捉えて準備し、そのことを身近な人と共有する意識を持っていたりするため、「意識醸成」を施策の柱の一つとしています

特徴③

意識醸成の主な対象を、自分の親世代が65歳以上の老年期を迎える世代、いわゆる壮年期以降としています



3 どんな将来を目指す？【ビジョン(将来の目指す姿)】本書 P7～

- 宗教観や死生観は人それぞれであることから、この基本構想では「葬送のあるべき姿」は示していません
- 多死社会においても、それぞれの事情や置かれている環境の許す範囲で、希望する葬送を可能な限り実現できる状態を目指します

【将来の目指す姿】

みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち  
～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～

【具体的なイメージ】

【意識が変わり行動している】

- 生前に葬送のことを考えて準備している
- 準備したことを身近な人と共有している



【安定的な環境が整備されている】

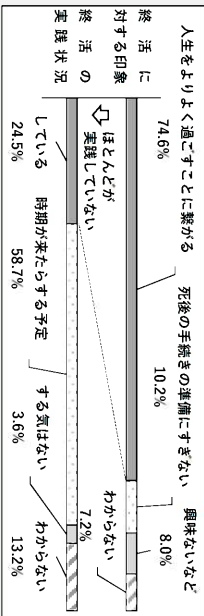
- 必要な葬送を実現する体制が整っている
- 火葬場や墓地などが安定的に運営できている



①葬送に対する意識 本書 P8

(1) 終活に対する意識は…

【終活に対する意識調査】

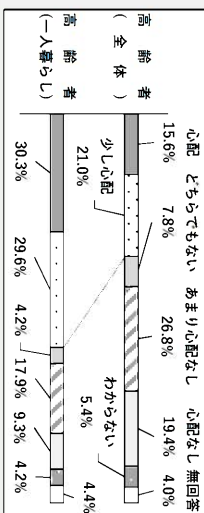


重要性は理解されていますがあまり実践されていません

実践に向けた意識づけが必要です

(2) 孤立死に対する不安は…

【孤立死に対する意識調査】



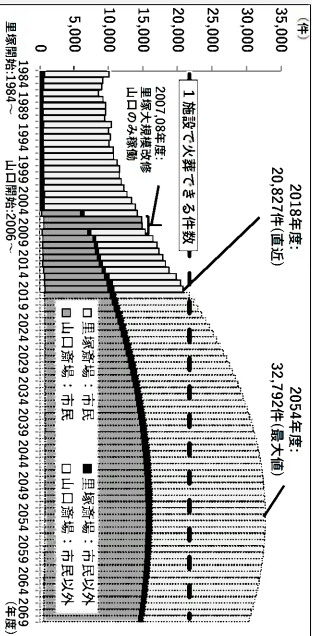
多くの高齢単身者が孤立死を不安に思っています

葬送の面からのサポートが必要です

②火葬場 本書 P10

(1) 1年間の火葬件数は…

【年間火葬件数の推移】



どちらかの火葬場が止まると対応しきれない状態です

里塚・山口両斎場の継続稼働が必要ですが(休止を伴う改修が困難)

2054年までに火葬件数が約1.6倍に増加します

火葬件数増に対応する施設整備が必要です

(2) 1日当たりの火葬件数は…

【2018年度の1日別火葬件数の変動】

平日	91	火葬日	136	火葬日翌日	61
最大値	91	休み	38		
最小値	38				

友引日は火葬場が休みのためその翌日が混雑します

9～10時開始の告別式が多いため午前中に出棺が集中します

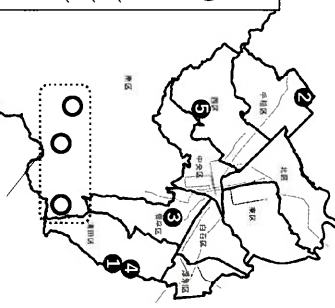


火葬の受付までバスの中などで待たされる場合があります

混雑緩和のための工夫が必要です

【札幌市内の火葬場・墓地】

- ① 里塚斎場 1984年～(2007、08年に大規模改修)
- ② 山口斎場 2006年～
- ③ 市営霊園
- ④ 平岸霊園 1941年～
- ⑤ 里塚霊園 1966年～
- ⑥ 手稲平和霊園 1973年～
- ※ 開拓時代からの旧設墓地も17カ所あります



他に檀家向けの寺院墓地や納骨堂も点在

③墓地 本書 P16

(1) 市営霊園のお墓は…

現在の市営霊園の運用中

ほとんどの区画が使用中に空いている区画を不定期に再公募

墓地供給は民間が主体

【総墓石数】

墓の外観による判定	46,748件
草木が伸び放題	820件(約2%)
墓石が倒れている	6,433件(約14%)
【墓地台帳上の判定】	
・使用者が100歳以上	
・転居先が不明	



無緑化が疑われるお墓がたくさんあります

無緑化の解消と予防が必要です

(2) 市営霊園を管理するためのお金は…

現在の市営霊園の維持管理財源

市営霊園を使用する時、最初に納付いたたたく墓所使用料と20年分の清掃手数料のみ

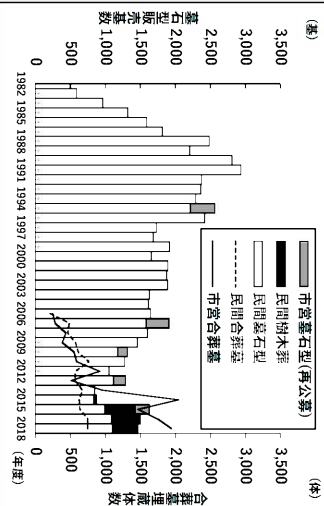
これらを積み立てて運用し市営霊園の維持管理に使用

低金利と霊園内の改修箇所増加によって、積立金が減ってきており、このままでは枯渇してしまいます

新たな財源の確保が必要です

(3) お墓の売れ行きは…

【札幌市内の墓所販売数・合葬墓の利用実績の推移】



墓石型が売れず合葬墓や樹木葬が増えています

墓地ニーズの変化への対応が必要です

基本目標① 『葬送について考え行動する市民の意識を醸成します』

「意識醸成に関する施策の方向性」

- ⑦ 葬送の準備をすることの意義や必要性を広めます
- ⑧ 火葬場・墓地に関する問題と取組への理解を求めます
- ⑨ 葬送関連事業者との連携による取組を進めます

（●）は先行して調査や検討を実施中

- ① 葬送に関するニーズの把握（●）
  - 葬送について知りたいこと・心配なこととの把握（アンケートの実施）
  - 葬送の現場での具体的なニーズの把握（葬送関連事業者との連携）

- ② 葬送に関する情報提供
  - 多死社会に伴う問題、火葬場や墓地に関する制度や仕組みの広報
  - 葬送関連事業者による支援情報の周知



① 葬送に対する意識

【各主体の関わり方】 本書P29～

市民

- 問題の理解
- 自分事としての認識
- 葬送の準備
- 身近な人との共有

事業者

- 市民への葬送支援
- 円滑な火葬業務への協力
- 多様な墓地ニーズへの対応

※ 葬送事業者、墓地整備者、石物業者、葬送関連NPOなど

行政

- 市民への意識醸成
- 安定的な火葬場運営への引取者のない遺骨への対応

3者の協働による活動の場

【協議体の設置】 本書P31～

協議体の役割

- 市民に対して
  - 意識醸成の取組



- 事業者に対して
  - 協議体の参画事業者による
  - 同業者との情報共有



- 行政に対して
  - 取組や進捗管理への意見



- ③ 里塚斎場の整備手法（●）
  - 築35年の里塚斎場の耐用年数調査（構造部分・設備・火葬炉）
  - 休止しない改修方法の検討

- ④ 火葬場の友引開場
  - 火葬場が休場している友引日の開場の検討

- ⑤ 火葬場の予約システムの導入（●）
  - 到着順の火葬受付を葬祭業者がインターネットで事前予約する仕組みの検討

- そのほか…
  - ⑦ 火葬場の運営手法の検討（山口斎場のPFI契約満了後の対応）
  - ⑧ 近郊市町村との平常時の共同利用、改修や災害時の相互バックアップ体制の検討
  - ④ 火葬場に関する様々な対応の経費の精査

② 火葬場

- ① 市営霊園の無縁墓への対応（●）
  - 無縁化疑い墓の使用者特定（戸籍調査など）
  - 無縁化を予防するための啓発

- ① 合同納骨塚の運用方法（●）
  - 平岸霊園の合同納骨塚の利用対象者の見直し
  - 参拝者増加による混雑への対応

- ② 市営霊園の新たな管理料制度（●）
  - 市営霊園の運用改善や施設の改修にかかる費用を精査し、徴収額・頻度・方法を検討

- そのほか…
  - ① 老朽化した市営霊園の計画的な改修（●）
  - ⑧ 民間視点でのサービス向上の検討（●）

- ③ 旧設墓地における管理のあり方の検討
  - ⑩ 条例に基づく財務報告を踏まえた民間霊園や納骨堂への指導の強化

③ 墓地

基本目標② 『多死社会においても安定運営可能な火葬場を実現します』

「火葬場に関する施策の方向性」

- ① 遺族に寄り添った視点による火葬場運営を継続します
- ② 施設整備と運用改善の両面から最適な運営体制を構築します
- ③ さつばる圏における効率的・安定的な火葬体制を検討します
- ④ 火葬場の使用に係る費用負担のあり方を見直します

基本目標③ 『少子高齢社会に対応した持続可能な墓地を実現します』

「墓地に関する施策の方向性」

- ① 事業者との協働により市民の墓地ニーズに対応します
- ② 市営霊園の無縁墓対策を進めます
- ③ 安全で利用しやすい市営霊園へ改善します
- ④ 市営霊園と旧設墓地の使用に係る費用負担のあり方を見直します



基本構想に基づく検討結果や取組を具体化した計画を策定（2022年3月予定）